

事業計画書 (案)

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所
2014年度 第1回通常総会並びに新年会 (1月例会)
担当委員会: 総務委員会 委員長: 川村 篤史

2 事業要項 事業背景

通常総会は、2013年度の報告、並びに2014年度の新体制の方向性を伝える会であり、また、新年会については、新たな51年目のスタートとして迎える2014年度の方針を、対外的に示す重要な事業である。2014年度の運動を円滑に進める為に、新体制の披露、JC運動のアピール。2014年度もご支援・ご協力を得るべく、地域に根ざしたJC運動をアピールし、ご理解頂く為の懇親の会でもある。

目的

対外: 2014年度、51年目を迎える三沢青年会議所の役員のお披露目をおこない、2014年度の方針を示し、多くの方からご理解とご協力を得られるよう努めます。また、日頃お世話になっているシニア会員・ご来賓並びに来訪JCと親睦を深め、三沢青年会議所メンバーとの繋がりを一層強固なものにすることを目的と致します。

対内: 通常総会にて2013年度の事業報告並びに収支決算書の承認を頂きます。新年会では、2014年度理事長を筆頭とした新体制で、ご来賓並びに来訪JC、シニア会員をおもてなしの心でお迎えし親睦を深めることができ、更には、メンバー一人ひとりが積極的に三沢青年会議所運動をアピールすることを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	1月29日 (水) 予定	事業予算額	¥137,897
実施場所	きざん三沢 (予定)		

参加員数計画

■会員36名 ■シニアクラブ会員122名 ■ご来賓124名 ■来訪JC40名

事業内容

■第1回通常総会 受付 15時30分 通常総会 16時00分
・プレジデンシャルリース伝達・新旧理事長バッジ交換
・第1号議案 公益社団法人三沢青年会議所2013年度事業報告書承認の
・第2号議案 公益社団法人三沢青年会議所2013年度収支決算書承認の
・第3号議案 その他

■新年会 受付 18時00分 新年会 18時30分
・オープニングアトラクション 三沢ヘリコプター空輸隊 (予定)
・開会・理事長挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・鏡開き・乾杯
・2014年度役員紹介

■総括【専務理事】

- 総合進行・責任者【総務委員会】
- 通常総会・新年会受付補佐【青少年育成委員会】
- 通常総会記録係【地域活性化委員会】
- 新年会記録係【拡大交流委員会】
- 全メンバーにてご来賓・特別会員・来訪JCの接待

事業計画書 (案)

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所
2014年度 第2回通常総会及び7月例会
担当委員会: 総務委員会 委員長: 川村 篤史

2 事業要項 事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は、一年間でさまざまな事業展開をおこなっております。しかしながら、日々の運動の中で改めてこれまでの運動を振り返ることが中々出来ません。通常総会の場において上半期の運動内容を振り返り、良き部分は下半期へ繋げ反省点は、下半期の課題としてメンバー全員が認識しなければなりません。そして、次年度理事長並びに次年度監事を選出し次年度に向けた体制も整えなくてはならず、7月という折り返し地点での通常総会の場が必要であり重要であると考えます。

目的

対外: 2015年度役員改選立会人として選挙を見守って頂くと共に、現役メンバーとシニアメンバーとの懇親を目的と致します。

対内: 上半期の事業報告を通じ、三沢青年会議所の上半期の運動の見直しと、下半期の運動指針を確認致します。また、役員改選をおこない、次年度理事長並びに次年度監事を選出し、新たなスタートへ向けての準備態勢に入る場でもあります。更に、懇親会においては、メンバー間の交流も深まり下半期の運動に向けて更なる団結力強化を図ることを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	7月 予定	事業予算額	¥0
実施場所	きざん三沢 (予定)		

参加員数計画

■会員36名 ■シニアクラブ会員122名

事業内容

- 第2回通常総会
 - ・第1号議案 一般会計補正予算 (案) の件
 - ・第2号議案 2015年度役員改選の件
 - ・第3号議案 その他
- 次年度理事長立候補者の募集
 - ・定款・諸規定に沿って公示
- 次年度理事長・監事投票並びに開票
 - ・投票立会人3名依頼 (シニアクラブ会員へ事前に依頼する)
 - ・理事長立候補者より、意見書の発表をして頂く
 - ・メンバーを4名ずつ投票所へと誘導し、立会人より理事長投票用紙 監事投票用紙を受け取り記入後投票箱へと投函する。
- 懇親会
 - ・次年度理事長候補者より、決意表明と抱負を述べてもらう

事業計画書 (案)

- 1 事業名称 広報誌やませ (第34回三沢国際サマーフェスティバル) 発行
 担当委員会: 総務委員会 委員長: 川村 篤史

2 事業要項

事業背景

我々、三沢青年会議所運動の内容などを、広く地域の皆様にご理解、そして認知して頂き、さらにご協力を頂くためには、サマーフェスティバル内容を含め、公益性の高い三沢青年会議所運動を、広報誌を活用することによって、広く発信することが必要であると考えます。

目的

対外: 第34回三沢国際サマーフェスティバルの内容や三沢青年会議所の運動内容など我々の思いを認知して頂けるツールであり一人でも多くの地域民にご理解を頂く。また、会議所運動の魅力を知って頂くことにより会員増強に繋がる事を目的と致します。

対内: 三沢市内や近隣地域に広く配布することにより、頂いた反響を各メンバーが今後のJ.C運動に繋げ三沢青年会議所全体のレベルアップを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	8月21日(木) 予定	事業予算額	¥165,240
実施場所	三沢市内全域及びおいらせ町の一部地域		

事業内容

■広報誌やませ (案) 作成

- 発行時期 平成25年8月21日(木) (予定)

■発行部数

- 15,000枚 (B4カラー両面印刷) (予定)
- ①三沢国際サマーフェスティバルPR (22日~24日の3日間)
- ②三沢J.Cの活動PR ③次年度理事長候補者挨拶 ④協賛企業広告
- ⑤会員募集告知 ⑥その他

■新聞への折り込み

- 読売新聞、朝日新聞、東奥日報、デーリー東北・毎日新聞社の5社

■発行者

- 公益社団法人 三沢青年会議所

事業計画書 (案)

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所 2014年度 第3回通常総会
 担当委員会: 総務委員会 委員長: 川村 篤史

2 事業要項

事業背景

7月におこなわれる第2回通常総会において次年度理事長候補者、次年度監事候補者が選出され本年度と並行して次年度新体制が動き出します。次年度の方向性をメンバー全員が共有する上でスタートを切らなければなりません。そのために、次年度の各事業の計画や予算、並びに全体の動きをメンバー全員に承認して頂き次年度理事長の下、一致団結しなければなりません。

目的

対外: なし

対内: 次年度がスタートがする上で役員改選がおこなわれ、組織図(案)、出向者(案)、事業計画書(案)、事業収支予算書、一般会計予算書(案)を承認し、メンバー全員が連帯感を持った上で次年度新体制のスタート準備に入ることを目的と致します。

3 事業概要

実施期間	12月 予定	事業予算額	¥0
実施場所	きざん三沢 (予定)		

参加員数計画

- 会員 36名 ■シニアクラブ会員 133名

事業内容

■第3回通常総会

- 第1号議案: 2015年度役員(案)並びに組織図(案)承認の件
- 第2号議案: 2015年度出向者(案)並びに実行委員長(案)承認の件
- 第3号議案: 2015事業計画書(案)並びに事業収支予算書(案)承認の件
- 第4号議案: 2015年度一般会計予算書(案)承認の件
- 第5号議案: その他

事業計画書(案)

- 1 事業名称 公益社団法人 三沢青年会議所
2014年度卒業式・忘年会・LOM褒賞授与式(12月例会)
担当委員会:総務委員会 委員長:川村 篤史

2 事業要項

事業背景

三沢青年会議所に貢献してきた卒業生の労をねぎらい、これまでの功績を讃え感謝の意を表し、お見送り致します。そして、一年間の締めくくりとして、今年おこなってきた事業を振り返り、LOM褒賞として最優秀委員会賞、最優秀新人会員賞、最優秀会員賞の表彰をおこない会員の意識向上へ繋げなくてはなりません。また、三沢青年会議所運動に対し、多大なるご支援とご協力を頂いているシニアクラブ会員の皆様へ一年間の感謝の気持ちを伝える場が必要となります。

目的

対外:卒業生が行ってきた運動の功績を讃えと共に卒業生のご家族にこれまでのご理解とご協力に感謝することを目的と致します。またシニアクラブ会員の皆様へ三沢青年会議所活動に対し、ご支援ご協力を頂いていることに対する感謝の気持ちを伝え、交流を図る事を目的と致します。

対内:

【卒業式】卒業生より会議所運動の中で学んだ事や現役会員に激励のメッセージを伝えて頂くことで今後の青年会議所運動の励みになることを目的と致します。

【忘年会】会員一人ひとりが一年間を振り返りそれぞれの労をねぎらい、また新たな目標を持って次年度を迎えるための懇親の場となることを目的と致します。

【LOM褒賞】一年間の委員会事業、会員の運動を表彰し功績を讃え次年度の会員の意識向上へ繋がる事を目的と致します。

3 事業概要

実施期間	12月予定	事業予算額	¥100,052
実施場所	さざん三沢(予定)		

参加員数計画

■会員 36名 ■シニアクラブ会員 133名 ■来訪JC 30名

■卒業生 3名 ■卒業生家族 名

事業内容

■卒業式

- ・卒業予定者口
- ・増田 尚恵 ・千葉 真一 ・小原 輝久

■LOM褒賞

- ・最優秀委員会賞、最優秀新人会員賞、最優秀会員賞の発表と表彰

事業計画書 (案)

1 事業名称 第23回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント
(5月例会)

担当委員会：拡大交流委員会

委員長：築井 生

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所と一般社団法人沖縄青年会議所が協力し、三沢・沖縄児童交歓事業を37年間継続しております。しかし、このすばらし青少年育成事業は、一定の資金が必要です。参加者の負担を少しでも軽減することにより様々な方が参加できます。そのため、この、シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメントを開催致します。

目的

対外：三沢・沖縄児童交歓事業への理解をして頂くとともに、公益社団法人三沢青年会議所のPRの場とすることを目的と致します。

対内：事業を通じ、メンバーがご参加いただく方々への感謝を忘れず、おもてなしの気持ちを待つ事で、今後の事業の糧にする事を目的と致します。また、三沢・沖縄児童交歓事業への参加意識の向上を目的と致します。

3 事業概要

実施期間	5月 予定	事業予算額	¥1,900,000
実施場所	例会：三沢市商工会館 3F 事務局 ゴルフトーナメント：米軍三沢基地内ゴッサーメモリアルG. C 表彰式・懇親会：米軍三沢基地内 (将校クラブ)		

参加員数計画

■会員 36名 ■一般 144名 (参加者)

事業内容

■例会

- ・チャリティーゴルフトーナメント開催の意義の確認
- ・チャリティーゴルフトーナメント実施内容・当日の動き確認

■チャリティーゴルフトーナメント

- ・チャリティーゴルフトーナメントの開催
- ・表彰式及び懇親会

事業計画書 (案)

1 事業名称 佐藤大介氏講演会 「人づくり、魅力づくり、まちづくり～三沢で学んだ大切なこと～」 (2月例会)

担当委員会：拡大交流委員会

委員長：築井 生

2 事業要項

事業背景

昨今、日本青年会議所の会員は減少傾向にあり、三沢青年会議所も今後同じ状態になりえます。まずは、会社や地域から求められる人財となり、地域の方々から尊敬されるリーダー的団体になる事で、多くの経済人が三沢青年会議所へ入会する意識が高まり、会員拡大へ繋がると考えます。また、三沢青年会議所の運動を理解して頂くことや、どのような会員が青年会議所運動を行っているのかを知って頂くことが重要であります。さらに、様々な分野で活躍されている青年経済人との交流を図る場を多く作る事によって密接な関係が生まれ、会員の拡大に繋がると考えます。

目的

対外：リーダーとしての自覚を地域経済人に強く持って頂き、今後の地域や会社の発展に繋げて頂く事を目的と致します。

対内：講演を通じて、地域や会社のリーダーとしての自覚を持つ事で、今後のJC運動の糧にして頂く事を目的と致します。さらに、三沢青年会議所が能動的に運動する地域で魅力ある団体となる事で、今後の会員拡大に繋げて頂く事を目的と致します。

3

事業概要

実施期間	2月 予定	事業予算額	¥159,265
実施場所	さざん三沢 (予定)		

参加員数計画

■会員 36名 ■講師 1名 ■経済人 70名

事業内容

・本講演会を通じて、地域や会社のリーダーとしての本質を学ぶ事により、自らが所属する会社や団体でリーダーシップを発揮し、地域や会社の発展に繋げて頂く事で、我々の目指す「明るい豊かな社会」の実現へ近づくのではないかと考えます。また、我々が本講演会を聞く事によって、会社はもちろんですが地域から求められる人財となり、地域の方々から尊敬されるリーダー的団体になる事で、多くの経済人が三沢青年会議所へ入会する意識が高まり、会員拡大へ繋がると信じ講演頂きます。

・本公演では、魅力ある講師を呼ぶことで多くの青年経済人を呼ぶことができると考えます。そして、来ていただいた青年経済人に三沢青年会議所の運動を理解して頂くとともに、地域の青年経済人をリスト化することで、本年の会員拡大に繋げてまいります。

事業計画書(案)

1 事業名称 第19回三沢・沖縄児童交歓事業(送り出し)(6月例会)

担当委員会:青少年育成委員会

委員長:類家 優

2 事業要項

事業背景

1978年に「国内でも気候、風土、生活環境の著しく異なる地域である、三沢市の児童と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め、友好を結び、健やかに育ち行く為の糧になること」を目的として、児童交歓事業調印式が行われてから、本年度第19回目を迎えるまでとなりました。36年という長い歴史のある素晴らしい本事業をさらに続けて行けるように、メンバー同士が一致団結して繋げて行きたいと考えております。

目的

対外:沖縄という歴史、風土、文化の異なる地で、三沢市の児童たちが親元を離れてのホームステイや様々な体験学習を通して、豊かな心を育むと共に、沖縄の児童たちとの交流を通じて相互の友情を深めてもらうことを目的とする。

対内:歴史ある本事業を通じて三沢青年会議所メンバーの結束をより強固なものすると共に、姉妹JCである沖縄青年会議所と互いに効力し合いながら本事業を展開し、両青年会議所の絆をより深めることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	児童交歓:7月 例会:6月	事業予算額	¥1,300,000
実施場所	沖縄市近隣		

参加員数計画

■会員 36名 ■沖縄青年会議所会員 18名 ■三沢・沖縄児童 30名

■児童保護者 30名

事業内容

■オリエンテーション

・全5回(予定)

■三沢・沖縄児童交歓事業

- ・三沢市の児童に沖縄の文化、生活習慣の違いを体験してもらう。
- ・家庭での迎え入れ(ホームステイ)の体験及び団体行動等。

事業計画書(案)

1 事業名称 自然と野鳥と私~私は自然にときめく~(案)について
(10月例会)

担当委員会:青少年育成委員会

委員長:類家 優

2 事業要項

事業背景

近年、親と子供のコミュニケーション不足が取りざたされる中で、我々が青少年の為にできることは何かを考え、三沢市にある小川原湖や市民の森を舞台に親子で新たな発見を試みようというコンセプトで、親と子供の絆を深めて行こうという事業です。トレッキングや野鳥観察などのイベントを通じて自然の大切さを学び、子供たちの明るく豊かな心をさらに広げていくことが必要であると考えます。

目的

対外:小川原湖や三沢市民の森という自然を舞台として、親と子供のコミュニケーションを深めて行くことを目的とし、さらには三沢市で生息する野鳥の生態などを勉強しながら、三沢の自然の豊かさを再認識してもらう。また、巣箱を親子で設置することにより、将来、設置した子供のさらに子供達が集えるような環境を作っていくことを目的とする。

対内:普段あまり触れることのない小川原湖や市民の森の自然をメンバーが一緒に触れ合うことにより、お互いの信頼関係を築きあげて行くことを目的とする。本事業を通じて、新たな発見をした時の喜びを分かち合い、今後のJC活動の糧にして頂く。

3

事業概要

実施期間	10月 予定	事業予算額	¥61,062
実施場所	小川原湖周辺~市民の森周辺(予定)		

参加員数計画

■会員 36名 ■児童 20名 ■保護者 20名

■講師 1名

事業内容

- ・講師より小川原湖の自然についてのレクチャー(聞いて学ぶ)
小川原湖周辺に生息する野鳥や生物に関し知識の豊富な講師からレクチャー頂く
- ・小川原湖周辺探索(場所:小川原湖~市民の森周辺)
講師付添いのもと、小川原湖~市民の森周辺までを探索しながら、野鳥、草花、木の実等を観察する。
- ・クリスマスリース作り体験(場所:小川原湖観光センターレイクピア)
準備したリースの土台と、探索で採取した草花、木の実等を活用。

事業計画書 (案)

- 1 事業名称 第34回三沢国際サマーフェスティバル開催()について
(8月例会)
担当委員会: 地域活性化委員会 委員長: 中塩 広司

- 2 事業要項
事業背景

わがまちの中心市街地は都市開発により街のハード面では大きく変化しましたが、後継者不足や人材育成といったソフト面での不安も大きく、未だ経済は苦しい状況にある。市民の笑顔と思いやりが溢れる元気なまちと人を取り戻す為に、他団体や行政と協力し官民一体となって三沢まつりを盛り上げることに、三沢市の経済の発展に貢献していかなければならない。

目的

対外: 三沢ならではの国際色をアピールしつつ、市民のパフォーマンスの場を創出することで文化と観光及び産業の復興に寄与する。

対内: 他団体とのネットワークを密にすることで明るい豊かな社会を築くため協和し、会議所活動の意識を向上させ次年度へ繋げる。また、三沢国際サマーフェスティバル(公益事業)を継続的に行なっていく為にも、これに対する収益事業を実施する必要がある。

- 3 事業概要

実施期間	8月21日(木)～8月24日(日)	事業予算額	¥1,814,000
実施場所	アーケード商店街(広瀬G.S前)～基地ゲート前、及びアメリカ広場		

参加員数計画

■会員 36名 ■一般 500名(参加者)

事業内容

- ・三沢まつり前夜祭全体会議より4日間を通して、関係諸団体と共にアメリカ広場の運営
- ・中日の神輿パレード及びアメリカ広場での審査・グランドフィナーレまで運営進行
- ・参加団体の募集及び説明会の開催。合わせて関係諸団体との打ち合わせ
- ・アメリカ広場特設ステージの運営

事業計画書 (案)

- 1 事業名称 インターナショナル・クリーン・オペレーション【I・C・O】
～綺麗にMisawaみつけ隊～ (3月例会)
担当委員会: 地域活性化委員会 委員長: 中塩 広司

- 2 事業要項
事業背景

三沢市が考える地域活性化の位置づけとして、中心市街地の活性化は最重要課題であると考えます。このことは、市が作成した三沢市中心市街地活性化計画からも明らかであり、我々三沢青年会議所が地域活性を実行するに当たり、取り組むべき課題のひとつでもあると考えます。そこで、この地域に暮らす一般地域民並びに米軍三沢基地の方と共に行動し、三沢市中心市街地を今一度見直し、地域活性化に繋げていかなければならないと考えます。

目的

対外: 環境美化運動などをしながら三沢市中心市街地を歩くことで、まちの魅力を発見することを目的とする。また、米軍三沢基地並びに地域住民の皆様は今一度三沢のまちを再確認していただき、このまちについて考える機会を創出する。

対内: CGOCと協働し、三沢市が掲げる地域活性化の一助となることを目的とする。また、改めて中心市街地をゆっくりと歩くことで、今まで気づかなかったまちの魅力を再発見し、メンバーひとりひとりがまちの魅力を発信していくことを目的とする。

- 3 事業概要

実施期間	3月 予定	事業予算額	¥50,080
実施場所	三沢市中心市街地		

参加員数計画

■会員 36名 ■CGOC及び外国人 50名 ■一般 10名

事業内容

- ・ホームページを活用した地域の魅力発信
トップページに三沢の魅力発信コーナーを作成し、三沢市の魅力を紹介する。
- ・環境美化作業
お互いが住み良いまちにする為に、雪融け後のゴミ拾いをする。
- ・現状把握
市内を歩く事により、地域活性化の糸口を探すとともに、今まで気づかなかったまちの魅力を再発見する。
- ・国際交流
三沢市をより知って頂く為に中心市街地を歩き運動していく。
- ・JCI NOTHING BUT NETSキャンペーン
中心市街地の店舗に入店し、自動販売機型募金の説明をする運動。

事業計画書(案)

- 1 事業名称 三沢Basket Festa!! 3on3バスケットボール
【J.Cカップ】 (9月例会)
担当委員会：公益事業推進室 室長：中塚 広司

2 事業要項

事業背景

我々三沢青年会議所は「明るい豊かな社会」を目的とし、ここ三沢市を中心に事業を展開してまいりました。2012年度に公益社団法人へ移行した事から、より公益的な事業の展開を目指していかなければなりません。三沢市は国際文化都市として発展を続けており、国際感覚を身に付けた人材を発掘していくことで地域活性化に繋がると考えます。我々三沢青年会議所が地域の青年経済人としてスポーツを通して地域企業と共に手を取り、地域の特色を発信していく事で、地域の発展及び青少年の育成に寄与する事と考えます。また、公益性の高い事業を行う事で、多くの市民や企業とのネットワークが確立され、地域に大きな効果をもたらすと考えます。

目的

対外：地域の人材の成長とPRを目的とし、発信することで地域活性やコミュニケーション能力の開発することを目的とする。

対内：各団体や企業と対話を積極的に行う事でメンバー一人ひとりが感じ成長することで、地域活性の一助となる。公益事業を行う事を通じ、コミュニケーション能力向上を目論み、国際交流の場ともなる。

3

事業概要

実施期間	9月 予定	事業予算額	¥211,988
実施場所	三沢市総合体育館		

参加員数計画

- 会員 36名 ■参加チーム 96名 ■三沢市近隣地域民 50名
■米軍人・家族 20名

事業内容

- ・3on3バスケットボール大会
中学生以下は8チーム、高校生以上は16チームの予定にし、リーグ戦1位と2位のチームが決勝トーナメントに進む。決勝は4チームのトーナメント戦とする。
- ・午後の部にて、青森ワッツとの交流及びプレーの指導。(クリニック)
- ・青森ワッツ チアリーダー教室
- ・青森ワッツ エキシビジョンマッチ
優勝チームにはワッツとのエキシビジョンマッチを行う。

事業計画書 (案)

1 事業名称 市長懇談会 (4月例会)

担当委員会: 三役担当

専務理事: 渡辺 卓也

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所が、三沢市の発展のためにまちづくり運動を行ううえで、三沢市との密なる連携が不可欠であると考えます。そのためには、名誉顧問である種市市長に三沢青年会議所の運動をご理解いただき、三沢市との懸け橋となって頂くことが必要であると考えます。

目的

対外: 公益社団法人三沢青年会議所の運動を名誉顧問である種市市長に具体的に伝えることで、我々の運動にご理解をいただき三沢市と青年会議所をつなぐ架け橋となって頂く。

対内: 名誉顧問である種市市長と交流を図ると共に、公益社団法人三沢青年会議所の事業をPRして頂く。

3 事業概要

実施期間	4月 予定	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢 (予定)		

参加員数計画

■会員 36名 ■一般 1名 (三沢市長)

事業内容

公益社団法人三沢青年会議所活動報告会

内容

- ・各委員会ごとに事業の紹介をしていただく
- ・パワーポイントなどを活用し、各委員会担当例会や継続事業の紹介を具体的にわかりやすく説明していただく

事業計画書 (案)

1 事業名称 設立記念例会「還暦・喜寿・米寿・銀婚式・金婚式」
(11月例会)

担当委員会: 三役担当

専務理事: 渡辺 卓也

2 事業要項

事業背景

公益社団法人三沢青年会議所は、1963年(昭和38年)11月17日に社団法人十和田青年会議所のスポンサーのもと、第262番目のLOMとして日本青年会議所より承認され誕生いたしました。これまで先輩諸兄が築いてこられた歴史や当時おこなわれた事業でのご活躍を振り返り、感謝すると共に還暦のお祝いをおこない特別会員と正会員との交流が更に深まるよう開催致します。

目的

対外: 敬意を表し感謝の気持ちとおもてなしの心で先輩諸兄をお迎えし、シニア会員及び現役メンバーでお祝いすることで、より一層交流が深まることを目的と致します。

対内: 公益社団法人三沢青年会議所の歴史や先輩諸兄がこれまでおこなってきた事業を振り返り、学ぶことで今後の三沢青年会議所運動に繋がります。

3 事業概要

実施期間	11月 予定	事業予算額	¥77,800
実施場所	きざん三沢 (予定)		

参加員数計画

■会員 36名 ■シニアクラブ対象者 6名 ■シニアクラブ 133名

事業内容

■還暦・喜寿・米寿・銀婚式・金婚式を祝う会

- ・対象となる先輩のプロフィール紹介
- ・対象となる先輩及び家族の方へ丸井理事長より花束と記念品の贈呈

■懇親会

- ・対象となる先輩の紹介
- ・対象となる先輩から現役当時の写真(パワーポイント)を見て頂きながら、当時の苦勞や喜びの体験談等を語って頂く。
- ・質問時間を設ける